

研究名：チオテバ投与時の皮膚障害への予防的介入とその結果

1 . 研究の目的

小児がんの患者に対する自家移植前の大量化学療法では、チオテバを使用することがあります。チオテバは副作用に皮膚障害があることが知られており、特に小児の患者に対して投与中に皮膚刺激の低減等の予防的介入を行うことが推奨されています。チオテバ投与時の皮膚障害への予防的介入とその結果を明らかにすることで、予防的介入の質向上につなげることができます。

2 . 研究の方法

研究対象：当センターにて 2016 年 3 月～2020 年 6 月までにチオテバを投与された方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2020 年 9 月 30 日

研究方法：チオテバを投与した患者の皮膚障害への予防的介入とその結果について、カルテからデータを収集してまとめます。

3 . 研究に用いる情報の種類

- ・疾患名、年齢、治療内容(チオテバ投与前に行った治療、チオテバ投与と同時に行った化学療法)、皮膚の状態とそれに対する児の反応、ケア内容です。

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4 . 情報の公表

研究内容は学会でポスター形式で公表する予定です。

5 . 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6 . お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、7月30日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 看護部 8階西病棟 安部 美樹子

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：3850）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 看護部 8階西病棟 安部 美樹子